

SLyDIF_I でらくらくスライド作成

monaqa

GitHub: <https://github.com/monaqa>

2020 年 1 月 12 日

はじめに

SLyDIF_I: SATySF_I のスライド作成用パッケージ

- ◆ **SATySF_I** (https://github.com/gfngfn/SATySF_i)
 - ▶ 静的型付き関数型言語ベースの新たな組版処理システム
 - ▶ 普通の文書作成時にはそこまで関数型言語を意識しなくてよい
 - ▶ パッケージの記述に用いる構文は OCaml 風
- ◆ **SLyDIF_I** (<https://github.com/monaqa/slydifi>)
 - ▶ SATySF_I でスライドを作成することができる
 - ▶ 実は既に先駆者がいる ([Steamer: Slide Presentation in SATySF_i](#))
 - Steamer とは page break 周りの実装を少しばかり変えている

SLyDIF_I の機能

フレーム作成

- ◆ フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの
- ◆ SLyDIF₁ では 3 種類のフレームを区別する
 - ▶ 見出し：スライド全体の題目，発表者名などを載せるフレーム
 - ▶ セクション見出し：セクションのタイトルを載せる
 - ▶ 本文：通常のフレーム

テキストの記述

以下のようなコマンドを用いてテキストを記述できる.

- ◆ `+p{}`: 段落
- ◆ `+listing{}`: 番号のない箇条書き
- ◆ `+enumerate{}`: 番号付きの箇条書き

さらに, インラインテキストの中では以下のマークアップが使える.

- ◆ `\emph{}`: **強調**
- ◆ `\textbf{}`: **太字**
- ◆ `\text-color(){}:` **文字色変更**
- ◆ `\link?:({Hyper Link})(`url`):` **ハイパーリンク**

図表の貼り付け

SLyDIF_I のテーマのカスタマイズ